

説明会でお話すること

1 鯖江市の燃やすごみの現状

燃やすごみの袋に、どのようなものが入っているのかを調べる「組成調査」の結果、雑がみやプラスチックなど資源物としてリサイクルできるものが約4分の1を占めており、食品ロスも含めると、全体の約3分の1は、本来の「燃やすごみ」ではありません。

2 燃やすごみ減量化をお願いしたい理由

現在鯖江市のごみは、本来燃やさなくて済む、余分なものが非常に多く混じっているのが現状で、このままでは、これからもずっとそうした余計なものを燃やすために、過大な設備投資や無駄に大きな施設の維持管理コストが生じてきます。将来にわたって何十億円にもものぼる無駄な経費をかけていくことは、大切な子や孫の世代にも大きなツケを回すことになってしまいます。

また、減量に向けての活動の積み重ねは、地球温暖化の防止にもつながり、SDG s の趣旨やゼロカーボンシティの実現にも寄与するものです。

3 燃やすごみ減量化のポイント

黄色のごみ袋は、燃えるものを入れるのではなく、燃やすしかないごみを入れるものです。市は、黄色のごみ袋に、3割強混入している燃やさなくていい物を、何とか1割以下になるよう「燃やすごみ排出量の2割減」を目標とします。

別紙「分別のポイント」を参照して正しい分別をお願いします。

4 ごみ袋への記名のお願い

令和4年4月1日から、ごみ袋に世帯主の方のお名前を書いてください。名前を書くことによってごみの問題を自分ごととして考え、自分の出すゴミに責任と自覚を持っていただきたいと思います。